

**第4回
重要文化財旧函館区公会堂
保存活用計画検討委員会会議録（要旨）**

開催日時	平成28年9月2日（金） 13時30分～16時30分
開催場所	重要文化財旧函館区公会堂 2階 控室
議 題	<p>(1) 前回協議事項のまとめ</p> <p>(2) 保存活用計画</p> <p>(3) 活用方策の検討</p> <p>(4) その他</p>
出席委員	<p>石王紀仁委員 菊池幸恵委員</p> <p>木村健一委員 木村 勉委員 (計4名)</p>
欠席委員	<p>角 幸博委員 伊藤鈴音委員 (計2名)</p>
オブザーバー	<p>文化庁文化財部参事官（建造物担当）付 文化財調査官（整備活用部門） 金井 健 (計1名)</p>
事務局	<p>教育委員会 生涯学習部次長 鶴喰 誠 文化財課長 蛭子井慶治 文化財課主査 野村祐一 文化財課主事 北村優理子</p> <p>都市建設部 景観政策担当課長 長谷山裕一 まちづくり景観課主査 浜谷内宏史 建築課主査 伍楼英悦 建築課主任技師 佐藤観生 (計8名)</p>
コンサル	<p>公益財団法人文化財建造物保存技術協会 参事・札幌管理事務所長 中内康雄 保存管理計画担当 猪狩優介 (計2名)</p>

1 開会

開会挨拶 (生涯学習部次長)	開会挨拶
-------------------	------

2 出席者紹介

出席者紹介 (事務局)	<input type="checkbox"/> 検討委員会委員 <input type="checkbox"/> オブザーバー <input type="checkbox"/> 事務局
----------------	---

3 協議

(1) 前回協議事項のまとめ

(1) 前回協議事項 のまとめ (事務局)	<p>資料に沿って説明 第3回検討委員会での指摘事項等 [資料2・3ページ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○玄関（3箇所）の呼称について ○建物活用の現状と問題点（石王委員指摘事項） ○事前送付資料「保存活用計画素案（1～2章）」 ○擁壁の設置について ○耐風対策 ○大広間収容人数上限 ○避難経路 ○防火設備のデザイン ○具体的な活用方策（石王委員提案） ○バリアフリー ○活用方策検討と委員会の今後について ○その他 <p>○配付資料「第4回重要文化財旧函館区公会堂保存活用計画検討委員会 配付資料」</p>
○委員意見	
(木村健委員)	<p>○用語の整理 公会堂の施設の性格として「有料観覧施設」「生涯学習施設」「社会教育施設」等の言葉が出てくる。どのように規定すれば活用がうまくいくだろうか。</p>
(事務局)	<p>明確な区分けは難しい。基本的には重要文化財建造物として公開している施設。プラスアルファとして貸館等の使い方を部分的に復活させてはどうかという検討をしている。</p>
(木村健委員)	<p>あくまでも重要文化財建造物として保存するのが大事なのではないか。例えば、指定管理者との協定書も「重要文化財等の管理に関する仮協定書」などとして、文化財であることを明記してはどうか。</p>
(事務局)	<p>「函館市社会教育施設棟の管理に関する仮協定書」は、財団が公会堂の他の施設も管理しているためこのような名称となっている。</p>
(石王委員)	<p>仮に宿泊施設として使用する場合も有料観覧施設となるのか。現在は建築基準法的には「観覧施設」となっているが。</p>
(事務局)	<p>重要文化財は建築基準法適用外ではある。法的な部分での詳細は今後検討していく。</p>

(2) 保存活用計画

1. 1～4章

1. 「1～4章」 (事務局)	資料に沿って説明 1章 計画の概要 [資料1～18ページ] 1-1. 計画の作成 1-2. 文化財の名称等 1-3. 文化財の概要 1-4. 文化財保護の経緯 1-5. 保護の現状と課題 1-6. 計画の概要 2章 保存管理計画 [資料19～32ページ] 2-1. 保存管理の状況 2-2. 保護の方針 2-3. 管理計画 2-4. 修理計画 3章 環境保全計画 [資料35～42ページ] 3-1. 環境保全の現状と課題 3-2. 環境保全の基本方針 3-3. 敷地環境の変遷と現状 3-4. 区域の区分と保全方針 3-5. 建造物の区分と保護の方針 3-6. 防災上の課題と対策 4章 防災計画 [資料43～51ページ] 4-1. 防火・防犯対策 4-2. 耐震対策 4-3. 耐風対策 4-4. その他の災害対策 ○重要文化財旧函館区公会堂保存活用計画 (素案)
○委員意見	特になし。

休憩

休憩	10分休憩
----	-------

建物見学

展示見学	大食堂に当時のテーブルを2つ展示 1階南側窓を開放
------	------------------------------

2. 5章「活用計画」

<p>2. 5章 「活用計画」 (事務局)</p>	<p>資料に沿って説明</p> <p>2. 5章「活用計画」 [資料53～69ページ]</p> <p>5-1. 活用の現状と課題 (1) 公開 (2) 活用方策 (3) 設備類</p> <p>5-2. 公開その他の活用の基本方針</p> <p>5-3. 公開計画 (1) 建造物の公開 (2) 家具の展示</p> <p>5-4. 活用方策 (1) 貸室 (2) 貸衣装・ヘアメイク・売店</p> <p>○重要文化財旧函館区公会堂保存活用計画 (素案)</p>
<p>○委員意見</p>	
<p>(石王委員)</p>	<p>○石王委員活用案について</p> <p>①建物南側：管理棟（受付・売店・衣裳館・厨房・軽食コーナー・バリアフリー対応トイレ）</p> <p>②管理棟隣・本館東側：駐車スペース</p> <p>③球戯室・大食堂：展示スペース（資料館・博物館ポータルサイト）（函館の歴史）（函館の町並み・古建築）</p> <p>④小食堂・寝室：宿泊スペース</p> <p>⑤会議所事務室等：貸室（ワークショップ等）（大学連携サテライト）</p> <p>⑥大広間：イベントスペース</p>
<p>(事務局)</p>	<p>財政的な問題等課題がある。基本的にこれまでの公開・活用の方法を継続するという議論があった。</p> <p>いただいた案は取り入れられるものがあるか、次回までに検討する。</p>
<p>(木村健委員)</p>	<p>5-1. 活用の現状と課題（1）公開</p> <p>この委員会を進めて行くにつれ、公会堂の建物自体は文化財としての元々の状態をなるべく保存するようべきだと考えるようになった。それに対してデジタル機器等を利用して観覧機能を追加していった方が良いのではないか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>事務局としても重要文化財としての保存を第一義とした上で活用していく方針である。</p>
<p>(石王委員)</p>	<p>一日あたりの入館者数はどれくらいか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>休館日等もあるので正確ではないが、年間約15万人を365日で割れば、約400人。</p>

(石王委員)	今日実際に見ても感じたが、券売機はかなり稼働している。しかし建物の雰囲気とそぐわないので、入館券は手売りにしたい。ローマのフォロ・ロマーノはあれだけの施設だが手売り販売である。
(事務局)	入場券の種類が多く、手売りでは対応しきれないと思われる。指定管理者選定の際に入場券の改定についても考えられればと思う。
(木村健委員)	来る度に思うが、券売機など機械の類はこの建物にはそぐわない。せめて見えない場所に隠してもらいたい。
(菊池委員)	資料55ページ。1階の小林写真館の展示は今後も展示するのか。あの展示を継続するならば「本来の姿に戻す」という今回の計画にそぐわないのではないか。馬車の展示などだんだんと寄せ集め的な展示になってきているように思う。
(事務局)	小林写真館の展示や馬車は博物館資料なので、今後の扱いについて協議をする。小林写真館は寄贈者の意向で「ぜひ公会堂に」ということで展示している。たまに展示するにはやぶさかではないが、今後であれば他の場所で展示したいと考えている。
(木村勉委員)	先ほど見せていただいた大食堂についてだが、「部屋面積に比べて見学者が少ない」と資料55ページにある。だが、あの部屋は公会堂で一番良い部屋なので、家具やカーテン等内装をしっかりと見せるべきではないか。
(事務局)	昭和修理後はテーブルを配置していたが、その後撤去されたものである。できればかつての姿を再現したい。
(木村健委員)	〇5-3. 公開計画(1) 建造物の公開 「解説板の設置は、景観を考慮し必要最小限とする」とあるが、解説板の設置自体を止めてはどうか。そこまで言い切らないと、次第に余計なものが追加されていってしまう。音声ガイドのみで対応する等方法はあるのではないか。
(石王委員)	元々公会堂に室名板はあったのか。
(事務局)	室名板は不明なので確認する。音声ガイド等を使用することは可能なので、実際の展示設計の時に検討する。計画での表現は「最小限」としておいて、実際はタブレット等を活用するのも可能だろう。しかし全ての人がタブレット等を使用できるわけではなく、従来の解説板を必要とする方もいるので、どこまで出来るかはよく検討していく必要がある。
(木村健委員)	ISO規格などを満たす説明板を考えると、どうしても大きなものになってしまう。五カ国語対応なども考慮すると、室内空間を見せることが難しくなってしまう。
(事務局)	1階の2部屋をガイドダンス部屋として、そこで建物の説明を行い、他の部屋には極力解説板を置かないようなイメージだった。事務局としても空間を見せるような展示にしたいので、よく検討する。
(菊池委員)	2階突出部の御湯殿の公開について。防犯上の死角になっている場所だが、どう対策をとるのか。
(事務局)	防犯カメラの設置や監視員の配置については、今後引き続き検討していく。ただ、カメラを設置するとなるとモニターを設置する必要も出てくるし、人を置くにしても管理委託の問題も出てくるので、どちらが良いのか考えなければならない。

(石王委員)	5-4. 活用方策 修理を機会に営業時間の変更は考えているのか。
(事務局)	現在は夏期は夜 19 時、冬期は夕方 17 時までの営業である。
(石王委員)	あの周辺は夜に営業している飲食店が少ないので、飲食店を開けば集客が見込めると思われる。
(事務局)	夜間にどのくらいの集客が見込めるか考えなければならない。指定管理者の業務内容にも見直しが必要になると思われる。

(3) 活用方策の検討

	資料に沿って説明 5-5. 施設等整備計画 (1) 管理・活用に必要な諸室 (2) 活用に必要な設備 5-6. 外構及び周辺整備計画 (1) 敷地の公開計画 (2) 整備方針 5-7. 管理・運営計画 (1) 指定管理者制度 (2) 協力団体 (3) 市民への開放 (4) 周辺施設との連携 ○重要文化財旧函館区公会堂保存活用計画 (素案)
○委員意見	
(事務局)	○5-5. 施設等整備計画 (2) 活用に必要な設備 1) 暖房 文化庁に確認したいのだが、暖房についての記載は計画の中ではこのような書き方でよろしいか。
(文化庁)	保存活用計画中の書き方はこの程度で問題はない。暖房、複層ガラス、断熱材等については計画の中では「検討する」程度に留めておき、実際の修理計画の段階でつめていけば良い。
(石王委員)	○5-5. 施設等整備計画 (2) 活用に必要な設備 2) バリアフリー スロープについてだが、事務局案のスロープでは正面からの建物の外観が変わってしまう。素材を何にするかによっては更に雰囲気を損なうことになる。また、冬の積雪の問題もある。
(事務局)	現状、文化財としての価値とバリアフリー対策を両立できるのはこの案だと思われる。スロープの設置で本当に良いのかを修理計画で検討していく。また、冬の積雪は、現状と同じく職員による雪かきで対応する。
(菊池委員)	車いすの方の入り口を本館西側にするとのことだが、入館するためのチケット購入はどうするのか。

(事務局)	西側に車いすの方用の車の乗降場からスロープまで来てもらい、同行の方に一度中央入口からチケットを買ってもらってから入場するというイメージだった。現状では車いすでの来訪は少なく、職員がマンパワーで対応しているとのことなので、このようなやり方でも問題はないかと思われる。
(石王委員)	エレベーターは設置しないのか。
(事務局)	建物内部にしても外部にしても、設置する際は建物の改変が必要になるので、エレベーターの設置はあまり好ましくないとと思われる。 重要文化財としての保存が第一義ではあるが、今後建物の置かれる状況の変化があった際に、それに合わせて建物の改変を行うことが出来るように、将来的に変える場合考えて行くことにして、今はそれぞれメリットとデメリットを記載することとしたい。
(石王委員)	〇5-5. 施設等整備計画(2) 活用に必要な設備 3) 便所 多目的便所は女子便所の隣の方が良いのでは。
(事務局)	スロープを事務局案の位置に設置する場合、こちらの場所が便利だと思われる。また、附属棟と本館の接続部には段差があるため車イスでは難しいこと、貸衣装の部屋と女子便所が近い方が便利だと思われることから、現在の共用便所を女子便所とした。
(石王委員)	女子トイレをパウダールームとして使用することも考えられる。
(事務局)	確かに多目的便所はスロープをつける候補になっている所と近い方が良い。 また、現在の共用便所は廊下の途中に段差があり、車いす用のスロープ等をつけるのが難しい箇所であるので、こちらに多目的便所を設置するのは難しいと思われる。
(石王委員)	そこの解消もはからなければならない。
(木村勉委員)	〇5-5. 施設等整備計画(2) 活用に必要な設備 4) 照明設備 現状の補助照明は近代的すぎるので、デザインを検討すべきである。 暗い方が良い部屋もあるので、設置場所も検討すべきである。
(木村健委員)	〇5-6. 外構及び周辺整備計画 西側庭園で野点を行っているということなので、電源が1つあるだけで全然便利さが違ってくると思われる。
(事務局)	5章の後に6章として現状変更の際の手続き等を掲載する予定である。最終稿が完成したら委員の皆さんにお示しする。 今回いただいたご指摘・ご意見を反映し、事務局で検討して最終稿を作成する。

(4) その他

<p>今後の スケジュール (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none">・資料から少しスケジュールを変更する。・最終稿を作成し、委員・文化庁にお送りして、意見を頂戴する。・その意見を参考に再び修正する。・最後の委員会を平成29年2月頃に開催し、最終確認としたい。・この委員会を計画作成後も何らかの形で継続させるべきとの意見をいただいたので、最後の委員会までに方針を決定する。・来年度は4月に実施設計、その後保存修理に入る予定。・指定管理については、現在の指定管理者と協議する。・保存修理工事に入る際に、建物が全く見えなくなるということは避けたいので、正面の部分だけでも透明な素材で見えるようにするよう検討している。・工事の現場見学会も実施する予定である。 <p>参考資料①平成28年度事業スケジュール [資料35ページ]</p>
<p>○委員意見</p>	
<p>(石王委員)</p>	<p>建築士会としても現場見学会には是非参加したい。</p>

5 閉会

<p>閉会 (事務局)</p>	<p>閉会</p>
---------------------	-----------